

# 令和6年度 くずまき観光地域づくり協議会 総会

日 時／令和6年5月28日(火) 13:30～  
場 所／くずま～る2階「まき×まきホール」

## 次 第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 事
  - (1) 報告第1号 令和5年度事業報告並びに収支決算報告について
  - (2) 議案第1号 令和6年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
  - (3) 議案第2号 役員改選について
- 4 その他
- 5 閉 会

くずまき観光地域づくり協議会

## 令和6年度くずまき観光地域づくり協議会名簿

役員任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日

No	役職	所属等	職名	氏名
1	会長	葛巻町	副町長	觸澤 義美
2	副会長	葛巻町商工会	会長	吉澤 信光
3	副会長	葛巻町観光協会	会長	八木 寛一
4	監事	一般社団法人葛巻町畜産開発公社	専務理事	高宮 晴彦
5	監事	岩手銀行葛巻支店	支店長	井上 桂吾
6		岩手県盛岡広域振興局経営企画部	産業振興室長	藤澤 壮仁
7		新岩手農業協同組合葛巻支所	支所長	小向 智賀子
8		葛巻町森林組合	常勤理事	竹川 高行
9		特定非営利活動法人葛巻町スポーツ協会	会長	近藤 豊美彦
10		株式会社岩手くずまきワイン	専務取締役	漆真下 満
11		株式会社グリーンテージくずまき	常務取締役	桂川 司
12		守山乳業株式会社葛巻工場	工場長	堺澤 昌志
13		タカナシ乳業株式会社岩手工場	工場長	田嶋 次郎
14		盛岡信用金庫葛巻支店	支店長	浅沼 勇太
15		岩手県立葛巻高等学校	校長	和田 健利
16		葛巻町自治会連合会	会長	神谷 義次
17		葛巻町女性団体連絡会	会長	近藤 とし子
18		葛巻町青年連合協議会	会長	山形 駿
19		移住者代表	英語教室主宰	新妻 浩三

20	アドバイザー	特定非営利活動法人いわて地域づくり支援センター	理事長	広田 純一
21		株式会社JTB盛岡支店	観光開発プロデューサー	西谷 泰生

22	事務局	いらっしやい葛巻推進課	課長	主濱 隆志
23		いらっしやい葛巻推進課	室長	吉澤 晴之
24		教育委員会事務局まなび交流課	室長	上館 芳彦
25		いらっしやい葛巻推進課移住定住係	係長	前野 正寿
26		いらっしやい葛巻推進課商工観光係	主事	桂川 輝
27		いらっしやい葛巻推進課商工観光係	主事補	高橋 瑚白

## 令和5年度事業報告

### 1 総括

くずまき観光地域づくり協議会で推進する「くずまきDMO事業」は、当協議会を母体として町民や関係機関等と連携・協働し、「観光」を切り口とした地域づくりを展開している。

協議会の設立から8年目を迎えた令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に分類されるなどポジティブな要素もあり、インバウンドを含めた全国的な観光動向はコロナ禍前の状況に回復しつつあり、当町における観光客の入込数も年間で約23万人と緩やかな回復傾向にあるものの、県や他市町村の回復に追い付いていない状況にある。

そのような状況の中、当協議会の事業をさらに推進するため、地域における各分野・産業との連携を強化し、観光コンテンツの柱となる特産品や地域食材、体験プログラムなどの地域資源の生産体制やサービス提供体制の充実を図るべく、地場産業の発展や町民生活の向上につながる観光地づくりを目指して、サイクルツーリズムやスポーツツーリズムなどの体験型観光コンテンツのブラッシュアップや地域の食材を活用した特産品の開発、まちなかエリアの賑わい創出に向けた住民ワークショップや起業家育成支援セミナーなどの事業を展開した。

また、移住希望者を対象とした体験ツアーや大学生による地域おこしプログラムの開催により関係人口の創出・拡大を図ったほか、セミナーや研修会の実施により、多様な分野を超えた人的ネットワークを構築して地域資源を活かした観光地づくりを推進した。

「くずまきDMO」の取組みについては、くずまきTVや協議会HP等において積極的に情報発信するとともに、3月には「活動成果発表会」を開催して活動内容の周知に努めた。

#### 【DMO : Destination Management/Marketing Organization】

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人（団体）。

### 2 取組経過

5月15日：令和5年度くずまき観光地域づくり協議会総会（出席者22人）

5月～：各検討部会活動開始

観光交流促進部会/まちなか賑わい創出部会/関係人口創出部会/  
若者・高校生部会

9月1日～：くずまきDMOキャンペーン① 観光情報等の発信

※町観光協会「くずまきフォトコンテスト」同時開催

くずまきDMOキャンペーン② くずまき鍋PR

※町商工会「くずまき飲食店応援ラリー」同時開催

3月14日：くずまきDMO活動成果発表会・講演会（参加者30人）

観光地域づくりセミナー「地方における観光ブランド戦略とは」

I GRいわて銀河鉄道株式会社 企画部 地域連携特命課長 濱戸祥平 氏

※各部会の活動詳細については、「3 各部会の活動状況等」で報告いたします。

### 3 各部会の活動状況等

#### (1) 観光・交流促進部会

項目	内容
① 基本方針	<p>観光客の町内での滞在時間を長くするため、サイクルツーリズムやスポーツツーリズムを中心とした体験型プログラムの充実を図るとともに、体験イベントやモニターツアーを開催して、町の観光コンテンツのPRを強化する。</p> <p>観光を軸とした全町的な取組みを推進するため、これまでの活動の成果を踏まえながら、観光分野の専門家のアドバイスのもと、さらなる観光客の受け入れ環境の充実・強化を図る。</p>
② 活動概要	<p>① <b>サイクルツーリズムの推進</b>            サイクルの利用促進のため、試乗会や体験会の開催のほか、レンタサイクルやサイクルステーションの運営を実施した。</p> <p>② <b>スポーツ大会・スポーツ合宿の誘致活動</b>            スポーツ大会や合宿誘致等による交流人口の拡大のため、町の助成制度周知や合宿相談会等へ参加し誘致活動を行った。</p> <p>③ <b>新たな特産品を活用した体験型観光モニターツアーの開催</b>            ・くずまき鍋&amp;ワインツアーの開催（3回）</p>
③ 活動状況	<p>① <b>サイクルツーリズムの推進</b></p> <p>ア サイクルイベントの企画・開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月3日～4日 e-Bike試乗体験会@平庭高原つつじまつり</li> <li>・6月11日、9月30日</li> </ul> <p>まちなか賑わい創出イベント連携e-Bike試乗体験会@さくら公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月21日～22日 Zwift体験会@町民まつり：体験者20名</li> </ul> <p>イ 自転車利用・レンタサイクルの普及促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクルステーションの設置・運営（14箇所）</li> <li>・レンタサイクルの運営</li> </ul> <p>② <b>スポーツ大会・スポーツ合宿の誘致活動</b></p> <p>ア スポーツ合宿等宿泊助成費補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム数：15チーム（県内8チーム、県外7チーム）</li> <li>・チーム区分：大学生3、高校生2、中学生5、小学生5</li> <li>・延べ宿泊者数：635人（前年度425人）</li> <li>・補助金額：1,006,580円（前年度749,400円）</li> </ul> <p>イ スポーツ大会等誘致運営費補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会数：5件（前年度3件）</li> <li>・補助金額：80,000円（前年度45,000円）</li> </ul> <p>ウ 合宿等誘致活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いわてSC合宿相談会（オンライン：1回）</li> </ul> <p>③ <b>新たな特産品を活用した体験型観光モニターツアー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月11日 「くずまき鍋&amp;ワインツアー①」：参加者21名</li> <li>・2月24日 「くずまき鍋&amp;ワインツアー②」：参加者21名</li> <li>・3月9日 「くずまき鍋&amp;ワインツアー③」：参加者21名</li> </ul>

<p>④ 委託事業</p>	<p>① 「<b>サイクル利用環境整備等業務</b>」 受託者：(株)やどり木  町民や観光客等による自転車を活用した利便性や周遊性を向上させ、観光振興と地域の活性化を図るため、自転車の利用実態を調査し、効果的な施策を展開するための基礎資料を作成すること及びサイクルステーションの円滑な運営を目的とする。  また、観光や視察等による来訪者の周遊環境を向上させることが課題であることから、まちなかの周遊性及び集客性を高め、ツーリストをまちなかに呼び込むために「くずまき型サイクルツーリズム」の促進事業に「レンタサイクル」を位置づけ、まちなかにおける需要の可能性及び利用者ニーズの把握を目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクルステーションの運営、サイクルラック及び工具等の利用状況調査</li> <li>・レンタサイクルの運営、情報発信</li> <li>・利用者へのアンケート調査の実施及び分析</li> </ul> <p>② 「<b>体験型観光モニターツアー実施業務</b>」 受託者：IGRいわて銀河鉄道(株)  着地型観光の受け入れ態勢の充実を図るため、「葛巻町ならではの」の職や体験を盛り込んだモニターツアーを実施して消費者ニーズを調査するとともに、冬期間における誘客促進を図り、交流人口の拡大となる「くずまきファン」の拡大を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型観光モニターツアーの開催</li> </ul>
<p>⑤ 成果</p>	<p>① サイクルツーリズムについては、観光客を受け入れるために必要な町民の理解が広がってきた。イベント中の万が一の際の対応の際など、自転車の取り扱いについて深く知っていないと対応できないケースがあるため、関係者の更なるスキルアップが必要。</p> <p>② スポーツツーリズムについては、スポーツ合宿が15チーム、大会誘致が5件と前年度から増加している。利用者からは、静かな環境で競技に集中できること、宿泊施設と隣接し利用しやすいとの好意的な意見をいただいております、継続した周知を図りたい。</p> <p>③ 体験型観光モニターツアー実施については、募集定員の16人を上回る申し込みがあり定員を増員するなど盛況であった。  参加者については、県内だけではなく青森県からの参加もあり全体的に好評であったため、ツアーの定着やリピーターの確保に向けて、内容のブラッシュアップを図りたい。</p>
<p>⑥ 課題</p>	<p>① サイクルツーリズムについては、観光コンテンツの一つとして他の観光資源等と連携を強化するとともに、まずは町民がサイクルに親しむことで、交流人口の拡大につなげていく必要があるため、気軽にサイクリングを体験・利用できる環境づくりをさらに推進したい。</p> <p>② スポーツツーリズムについては、利用者から、合宿と併せて、体験活動を行いたいという意見をいただいていることから、町内の関係団体と連携を図り、合宿のリピーターにつながるように満足度の向上に努めていきたい。また、合宿・大会誘致の情報等、盛岡広域スポーツコミッ</p>

	<p>ョン及び近隣市町村と連携を図り、スポーツ・宿泊施設を相互利用できるような体制を構築していきたい。</p> <p>③ 体験型観光モニターツアーについては、内容が「鍋」と「ワイン」に特化したところが盛況の要因の一つであったと思われる。体験についても概ね好評であったが、食事メニューへの要望や指摘が少なからずあったため、今後ブラッシュアップする必要がある。</p> <p>また、今回は日帰りツアーであったが、宿泊ツアーの実施も含め、更に魅力的なツアーとなるよう検討していきたい。</p>
--	---

(2) まちなか賑わい創出部会

項目	内容
① 基本方針	<p>「まちなかエリアビジョン」に基づき、「歩きまわりたくなるまちなか」の実現に向けて公民連携によるエリア全体の価値向上につながる取組みを推進するとともに、起業家の創出や誘致に向けてエリアの魅力向上と民間活力の導入を図りながら、受入環境の整備を推進する。</p>
② 活動概要	<p>① <b>まちなかりノベーションワークショップの開催</b>  さらなる交流人口の拡大と新たな雇用の創出を目指し、町民の意見を集約する機会として「歩きまわりたくなるまちなか創造ワークショップ」（昼の部2回、夜の部3回、計5回）を開催した。  また、実践活動として、「まちなか賑わい創出イベント」を2回開催した。</p> <p>② <b>起業家育成支援セミナーの企画・開催</b>  まちなかエリアの再生に向けて、起業を志す人材を育成する起業家育成支援セミナー「月3万円のわたしごと」（全7回）を開催した。</p>
③ 活動状況	<p>① <b>まちなかりノベーションワークショップ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月11日（日） 実践活動「まちなか賑わい創出イベント」① 来場者：約30人@さくら公園</li> <li>・ 6月17日（土） 視察研修「わたしごと万博」参加者5人 ～18日（日） @埼玉県宮代町ほか</li> <li>・ 7月13日（木） 歩きまわりたくなるまちなか創造ワークショップ 夜の部①：参加者9人</li> <li>・ 7月27日（木） 歩きまわりたくなるまちなか創造ワークショップ 夜の部②：参加者7人</li> <li>・ 8月1日（火） 歩きまわりたくなるまちなか創造ワークショップ 昼の部①：参加者5人</li> <li>・ 8月17日（木） 歩きまわりたくなるまちなか創造ワークショップ 夜の部③：参加者7人</li> <li>・ 8月27日（日） 歩きまわりたくなるまちなか創造ワークショップ 昼の部②：参加者6人</li> <li>・ 9月30日（土） 実践活動「まちなか賑わい創出イベント」② 来場者：約30人@さくら公園</li> </ul>

	<p>② 起業家育成支援セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6月3日（土） 「月3万円のわたしごと」 講座体験ワークショップ：参加者7人</li> <li>・ 7月2日（日） 「月3万円のわたしごと」 講座①：参加者7人</li> <li>・ 7月17日（土） 「月3万円のわたしごと」 講座②：参加者7人</li> <li>・ 8月6日（土） 「月3万円のわたしごと」 講座③：参加者7人</li> <li>・ 9月3日（日） 「月3万円のわたしごと」 講座④：参加者7人</li> <li>・ 9月18日（日） 「月3万円のわたしごと」 講座⑤：参加者7人</li> <li>・ 10月22日（日） 「月3万円のわたしごと」 講座⑥：参加者7人</li> </ul>
④ 委託事業	<p>① 「まちなかエリアリノベーション推進業務」受託者：(株)やどり木 「まちなかエリアビジョン」に基づき「歩きまわりたくなるまちなか」の実現に向けて公民連携によるエリア全体の価値向上につながる取組みを推進するとともに、観光地域づくり人材の育成と民間活力を引き出す体制づくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光地域づくり人材育成研修プログラムの実施（WS開催）</li> <li>・ まちなか誘客促進イベントの開催</li> </ul> <p>② 「起業家育成支援事業推進業務」受託者：(株)やどり木 本町のまちなか再生のため、起業を志す人材を育成し、まちなかエリアの賑わいの創出及び民間活力の創出に寄与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修プログラム「月3万円のわたしごと」の実施</li> <li>・ 起業希望者に対するアドバイザー業務</li> </ul>
⑤ 成果	<p>① 「歩きまわりたくなるまちなか創造ワークショップ」では、今後のまちなかエリアのビジョンを議論・共有する機会となり、「地域づくりは自分ごとである」という意識の醸成が図られ、実践活動として賑わい創出イベントの実施にもつながった。</p> <p>② 起業家育成支援セミナー「月3万円のわたしごと」講座は7人が受講し、起業による地域の賑わいづくりについて理解を深めるとともに、起業しやすい雰囲気の醸成が図られ、受講者が実際に活動するなどの成果が表れてきている。</p>
⑥ 課題	<p>① 「歩きまわりたくなるまちなか」の実現に向け、起業家育成支援事業と連携したまちづくり基幹人材の育成により、町づくりを自分ごととして捉え、自主的な活動が芽生えてきたが、その継続と発展のため、さらなる人材育成と活動展開の支援が必要である。</p> <p>② 継続的な支援による起業候補者の発掘と、多くの人がまちづくりを自分ごと認識し参加したくなるような情報発信が必要であり、受講者が実践活動に移れるよう、ハード面等の支援による起業しやすい環境のさらなる充実が必要である。</p>

(3) 関係人口創出部会

項目	内容
① 基本方針	<p>特産品を中心に葛巻町のブランドイメージのさらなる向上を図り、新たな「くずまきファン」の獲得を目指す。</p> <p>また、移住体験ツアーや各種情報発信を通じて、町への移住を促進するとともに、「拡大コミュニティ」の形成を目指して町外在住者や大学生等の関係人口を創出し、地域づくりへの多様な関わりとU I ターンを促進する。</p>
② 活動概要	<p>① 町の特産品を活用した商品開発によるブランディング            専門家等からアドバイスをいただき、町の観光施設やレストラン等で提供できる町の特産品を活用した新商品（メニュー）の開発を進めた。            ・3事業所</p> <p>② 移住希望者に対するPRイベント等の開催            実際に現地に来町していただく「体験ツアー」を夏季・冬季の2回実施。また、県外の移住希望者に対して町の情報を提供するため、交流・説明会を実施した。            ・【夏季】くずまき暮らし体験ツアー（7月16日～17日）            ・【冬季】くずまき暮らし体験ツアー（2月3日～4日）</p> <p>③ 定住を支援するための仕事、住まいに関する情報発信            移住に向けて「くずまき暮らし」のイメージを膨らませていただくことを目的として、町の食文化や町民の暮らしの様子などをSNSで情報発信した。</p> <p>④ 若い世代の関係人口の創出とU I ターンの促進            ・大学生対象の地域おこし体験「若者関係人口創出事業」の実施</p>
③ 活動状況	<p>① くずまき暮らし体験ツアー            ・7月16日（日）～17日（月） 参加者8人            ・2月3日（土）～4日（日） 参加者2人</p> <p>② 若者関係人口創出事業            ・7月8日（土）～9日（日）            若者関係人口創出事業① 地域理解：参加5人            ・8月16日（木）～22日（火）            若者関係人口創出事業② 地域交流：参加5人            ・10月21日（土）～22日（日）            若者関係人口創出事業③ 企画設計：参加5人            ・11月4日（土）～5日（日）            若者関係人口創出事業④ 企画実施：参加20人            当日来場者：123人            ・1月13日（土） 若者関係人口創出事業⑤            首都圏での企画実施：参加6人 当日来場者：15人            ・2月10日（土） 若者関係人口創出事業⑤            現地報告会：参加5人 当日来場者：8人</p>



	<p>③ 特産品の魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5月18日～19日 くずまき鍋開発支援業務及び特産品開発プロデュース業務① 参加者13人</li> <li>・ 6月15日～16日 くずまき鍋開発支援業務及び特産品開発プロデュース業務② 参加者10人</li> <li>・ 7月4日 くずまき鍋開発支援業務及び特産品開発プロデュース業務③ 参加者10人</li> <li>・ 7月18日 「冷やしくずまき鍋」及び「新特産品」完成発表会：参加者21人</li> </ul>
<p>④ 委託事業</p>	<p>① 「特産品活用新商品開発等支援業務」受託者：メグミプランニング 町内外の方々や観光客等に特産品を通じて町の魅力を伝えることで、観光産業の振興と地域の活性化による人口減少対策を目的として、特産品を活用した新商品を開発するとともにPR活動を実施するため、新たな商品等の開発を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町の特産品を活用した新商品の開発等</li> <li>・ 新商品の試食会等における新商品PR活動</li> <li>・ 製造者のレベルアップ支援</li> </ul> <p>② 「くずまき暮らし体験業務」受託者：トラベルリンク 主に県外在住の若者・子育て世代の移住希望者に対し、町の魅力や暮らしの様子をウェブ上で情報発信するとともに、住民との交流機会や実際に町を訪れる機会を提供することで「移り住みたくなる町」としての認知度の向上と、くずまきファンの拡大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ くずまき暮らし体験ツアーの開催</li> <li>・ SNSによる情報発信「くずまきヒュッゲ」</li> </ul> <p>③ 「若者関係人口創出事業推進業務」受託者：NPO法人SET 地方創生への関心の高い都市部の学生ら呼び込み、地域づくりに深く関わることによって町への愛着を育み、地域の活性化及び継続的な若者の関係人口の創出、ひいては将来的な移住定住を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学生等による地域づくりプログラムの実施</li> </ul>
<p>⑤ 成果</p>	<p>① (一社)葛巻町畜産開発公社、(株)岩手くずまきワイン、(株)グリーンテージくずまきに協力をいただき、町産食材を活用した新メニュー7品が完成。各メニュー開発にあたっては各社のご協力をいただき、既存メニューを活かした効率的で負担の少ないメニューの開発を心掛け、即商品化に結び付けることができた。</p> <p>② くずまき暮らし体験ツアーを夏・冬時期2回実施し、季節に応じた現地ならではの空気感や町での暮らしを体験していただくことで魅力をPRすることができた。</p> <p>③ 大学生を対象とした地域おこしプログラムについては、現地でのイベント参加や企画の実施などを通して、町民との交流を深めるとともに、</p>



⑤ 成 果	<p>① 各々が設定した課題を解決するためSETのサポートを受けながら活動を行い、自分の企画を実施した人もおり、それぞれが概ね目標を達成することができた。</p> <p>② 考えた企画を実施することができ、若者や高校生が観光地域づくりへの参画を実感することができた。</p>
⑥ 課 題	<p>① 次世代を担う地域づくりの担い手育成のために、町内の若者や高校生が地域探求活動を通じて地域づくりに関わる機会を継続的に創出することが必要。</p> <p>② 実践活動の効果を高めるためには、より多くの参加者や町民を巻き込んだ活動を展開する必要がある。</p> <p>③ 活動終了後も継続的にまちづくりに関わるために関係を強化する仕組みの構築やさらなる情報発信が必要。</p>

# 令和5年度収支決算報告

## 1 令和5年度くずまき観光地域づくり協議会収支決算書

### 【 収 入 】

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 額 (C=B-A)	内 容
補 助 金	1,000,000	1,000,000	0	葛巻町一般会計より 1,000,000
繰 越 金	265,983	265,983	0	前年度繰越金 265,983
雑 入	34,017	7	▲ 34,010	決算利息 7
計	1,300,000	1,265,990	▲ 34,010	

### 【 支 出 】

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 額 (C=B-A)	内 容
会 議 費	50,000	26,865	▲ 23,135	総会賄い、会場使用料等 26,865
需 用 費	50,000	34,232	▲ 15,768	消耗品等 34,232
役 務 費	80,000	131,632	51,632	HPレンタルサーバ使用料 16,500
				広告料 110,000
				手数料等 5,132
交 際 費	20,000	0	▲ 20,000	0
部 会 活 動 費	1,010,000	529,784	▲ 480,216	部会参加者謝礼、講師謝礼等 170,000
				視察研修等旅費 86,100
				需用費 273,684
				消耗品費等 249,043
食糧費 24,641				
管 理 費	50,000	43,930	▲ 6,070	町家旧遠藤邸 43,930
負 担 金	30,000	0	▲ 30,000	0
予 備 費	10,000	0	▲ 10,000	0
計	1,300,000	766,443	▲ 533,557	

収入合計 1,265,990 円 - 支出合計 766,443 円 = 499,547 円 (翌年度へ繰越し)

2 町一般会計におけるDMO事業関連経費【参考】

【 収 入 】

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 額 (C=B-A)	内 容	
国庫支出金	0	0	0	0	
一 般 財 源	14,850,000	19,822,098	4,972,098	需用費分	10,560
				原材料費分	18,793,387
				委託料費分	18,151
				補助金分	1,000,000
計	14,850,000	19,822,098	4,972,098		

【 支 出 】

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差 額 (C=B-A)	内 容	
需 用 費	300,000	10,560	▲ 289,440	施設等修繕料（町家旧遠藤邸）	10,560
委 託 料	13,500,000	18,811,538	5,311,538	観光・交流促進事業関係 サイクル利用環境整備等業務	1,183,226
				観光・交流促進事業関係 体験型観光モニターツアー実施業務	1,122,720
				まちなか事業関係 まちなかエリアリノベーション推進 業務	1,506,450
				まちなか事業関係 起業家育成支援事業推進業務	1,754,500
				まちなか事業関係 くずま〜る周辺環境整備構想策定 業務	3,465,000
				関係人口創出事業関係 特産品活用新商品開発等支援業務	3,527,700
				関係人口創出事業関係 くずまき暮らし体験業務	1,770,542
				若者・高校生事業関係 若者関係人口創出推進業務	2,996,400
				若者・高校生事業関係 若者・高校生地域探求実践事業 推進業務	1,485,000
原 材 料 費	50,000	0	▲ 50,000	町家旧遠藤邸ウッドチップ	0
補 助 金	1,000,000	1,000,000	0	くずまき観光地域づくり協議会	1,000,000
計	14,850,000	19,822,098	4,972,098		

※この資料につきましては、町のDMO関連事業決算の抜粋になります。

# 監 査 報 告 書

くずまき観光地域づくり協議会規約第5条の規定により、令和5年度くずまき観光地域づくり協議会収支決算について、令和6年5月14日に関係諸帳簿及び証拠書類等を監査した結果、いずれも正確に処理されていることを認め、ここに報告します。

令和6年5月28日

監 事 高 宮 晴 彦 

監 事 井 上 桂 吾 

## 令和6年度事業計画(案)

### 1 全体到達目標

新型コロナウイルス感染症の影響などにより減少した観光客入れ込み数は回復傾向にあるものの、令和5年度の入込数は約23万人と最盛期の約55万人の半数にも満たず、観光関係事業者や商工業者を中心とした地域経済に多大な影響が出ていたが、令和5年の新型コロナウイルス感染症の5類への引き下げにより、全国的にインバウンドを含めた観光客数は回復傾向にある。

このような状況下にあって、観光を切り口とした視点で地域経済の活性化を図る観光地域づくり「くずまきDMO」の取組みについては、全町的な取組みとして強力に推進し、地場産業の発展と人口減少対策としての観光地づくりを推進することが改めて重要視されている。

また、令和6年度は、第2期工事が着工中である「くずま〜る」をまちなかの拠点として、周辺施設や町内の各種コンテンツと連携し、さらなる誘客やイベント等の活性化が期待できるところである。

これらのことを契機として、観光地域づくりをより一層推進するため、地域における多様な分野・産業の連携強化を図るとともに、観光コンテンツの柱となる町の特産品や地域の「食」、体験プログラムなどの地域資源の生産体制やサービス提供体制の充実を図り、葛巻町の魅力を最大限に活かした観光コンテンツを整備して、町内周遊と宿泊につながる「着地型観光」の推進による関係・交流人口の拡大を目指す。

また、実践・実働部隊となる4部会では、これまでの取り組みの成果を事業化する体制を構築するとともに、地域づくりに関わる人材育成や民間事業者等との連携強化を図るものとする。

### 2 DMOビジョン

- (1) 観光客や町民が町内の魅力ある空間・スポットを回遊しながら交流し、町の特産品や料理を消費して、地域経済が活性化する。
- (2) 「くずまきらしいライフスタイル」の発信により、交流人口が増加して町の賑わいが創出されるとともに、産業の担い手となる若い世代が町に集まる。

### 3 活動方針

- (1) 葛巻町の観光資源を磨き上げ、町のブランドイメージをさらに向上させる。
- (2) 中心商店街がある「まちなかエリア」における誘客・交流を促進する。
- (3) 町の特産品を活かした「食」産業の振興を図る。
- (4) 観光地域づくり人材の育成と民間活力を活かす体制づくりを推進する。
- (5) 関係団体相互の連携を強化し、くずまきDMO事業を全町的な取組みとして推進する。

## 4 事業内容

### (1) くずまきDMO推進事業

- ① くずまき観光地域づくり協議会の運営
  - ・定期総会の開催
  - ・各テーマ別部会活動の推進
- ② くずまきDMO事業推進体制の強化
  - ・観光地域づくりセミナーの開催
  - ・先進地視察研修の実施
  - ・DMO活動成果発表会の開催
  - ・観光関連情報の発信（ホームページ、SNS等）
  - ・DMO企画キャンペーンの展開

### (2) 着地型観光体制構築事業

- ① 町内周遊観光体制構築事業
  - ア 着地型観光の受入体制の強化
    - ・体験型モニターツアー、イベントの開催
  - イ 各種ツーリズムの機運醸成
    - ・サイクルツーリズム（サイクル体験イベント等の開催、レンタサイクル・サイクルステーションの設置）
    - ・スポーツツーリズム（各種スポーツ大会・スポーツ合宿の誘致促進）
    - ・グリーンツーリズム（民泊の受入れ拡大）
  - ウ 若者・高校生世代の観光地域づくりへの参画促進
    - ・地域探求実践活動への支援
- ② まちなかエリア誘客促進事業
  - ア 観光地域づくり人材の育成と民間活力の導入促進
    - ・まちなかりノベーションワークショップの開催
    - ・賑わいづくり実践活動の展開
  - イ 起業希望者の発掘とまちなかエリアへの誘致
    - ・起業家育成支援セミナーの開催

### (3) 関係人口拡大推進事業

- ① 特産品の魅力向上による「くずまきファン」の拡大
  - ・地域食材や特産品の高付加価値化に向けたメニュー等開発支援
  - ・「くずまき鍋」のPR促進
- ② 移住希望者に対するPRの推進
  - ・くずまき暮らし体験ツアーの開催
- ③ 拡大コミュニティの構築
  - ・大学生のインターンシップ及び地域おこし体験プログラムの受入れ



## 5 DMO戦略及びKPI（重要業績評価指標）

### （1）戦略及びKPIの設定方針

年度終了後に各戦略の業績を正確に把握・検証して業績の改善につなげるため、戦略の重要な業績を評価することができる指標のうち、「測定が容易に可能であり、努力次第で期間内に達成が可能と考えられるもの」として設定します。

### （2）葛巻町総合計画後期基本計画（第3期総合戦略）策定に伴う見直し

葛巻町総合計画後期基本計画（第3期総合戦略）の策定に伴い、重点プロジェクト（戦略）や重点施策、KPIなどが見直しされたため、くずまきDMO戦略も見直しを行いました。期間についても、後期計画の令和6年度～令和9年度にあわせておりますが、必要に応じて見直すこととします。

#### 【見直し部分】

#### ① 重点プロジェクト（戦略）

- ・「元気に満ちた“しごと”づくり」→「次代につなぐ“しごと”づくり」
- ・「魅力あふれる“まち”づくり」→「持続可能な“まち”づくり」
- ・「光り輝く“ひと”づくり」→「循環する“ひと”づくり」

#### ② 重点施策

- ・「魅力ある雇用の創出」→「若者・女性が活躍できる雇用の創出」
- ・「商店街の賑わいづくりと商工業の発展」→「変革による産業の振興」
- ・「町の資源を活用した観光交流の促進」→「観光交流の促進と賑わいづくり」
- ・「若い世代が暮らしたくなる住宅環境の整備」  
→「若い世代が定着できる住宅環境の整備」
- ・「子育てしやすい環境の整備」→「結婚・出産・子育てなどに応じた支援の充実」

#### ③ KPI

- ・「関係人口数」→「ふるさと納税件数」
- ・「協議会ホームページ訪問数」→「ライフビジョンアカウント数」
- ・「子育てファミリー層の移住件数」→「子育て世代の移住件数」

### （3）DMOビジョン1

観光客や町民が町内の魅力ある空間・スポットを回遊しながら交流し、町の特産品や料理を消費して、地域経済が活性化する

戦略	KPI	R9目標	R3	R4	R5
産業の担い手確保	新規就業者 (農業・林業・商工業)	8人/年	8人/年	5人/年	4人/年
まちなかエリアへの誘客による 個店の売上増	地元購買率	50.00%	45.70%	45.70%	45.70%
観光地域づくり人材の育成	DMO部会参加延べ人数	850人/年	703人/年	716人/年	743人/年
各種ツーリズムの推進による観 光客の増加	観光客入込数	578,980人/年	187,218人/年	186,526人/年	228,386人/年
滞在型観光の推進による宿泊者 の増加	町内宿泊施設宿泊者数	16,211人/年	13,060人/年	12,808人/年	11,417人/年
「くずまきファン」となる 関係人口の拡大	ふるさと納税件数	1,400件	768件	770件	800件

#### (4) DMOビジョン2

「くずまきらしいライフスタイル」の発信により、交流人口が増加して町の賑わいが創出されるとともに、産業の担い手となる若い世代が町に集まる。

戦 略	KPI	R9目標	R3	R4	R5
町の魅力的な情報発信	ライフビジョンアカウント数	5,000件	2,343件	2,617件	3,051件
U・Iターン希望者への移住支援	新規移住相談件数	77件/年	48件/年	48件/年	42件/年
子育て世代への移住支援	子育て世代の移住件数	10世帯/年	3世帯/年	5世帯/年	5世帯/年
「くずまきファン」となる関係人口の拡大（再掲）	ふるさと納税件数	1,400件	768件	770件	800件

## 6 各部会の活動内容

### (1) 観光・交流促進部会 ～プロモーション（参加・購買意欲の喚起）～

#### ① 基本方針

観光客の町内での滞在時間を長くするため、サイクルツーリズムやスポーツツーリズム、グリーンツーリズムを中心とした体験型プログラムの充実を図るとともに、体験イベントやモニターツアーを開催して、町の観光コンテンツのPRを強化する。

観光を軸とした全町的な取組みを推進するため、これまでの活動の成果を踏まえながら、観光分野の専門家のアドバイスのもと、さらなる観光客の受け入れ環境の充実・強化を図る。

#### ② 目標

- ア 着地型観光の受入体制の充実
- イ サイクルツーリズムの機運醸成
- ウ スポーツツーリズムのPR強化
- エ グリーンツーリズムの普及促進

#### ③ 活動内容

- ア 体験型モニターツアーの企画・開催
- イ サイクル体験イベント等の企画・開催
- イ 自転車利用・レンタサイクルの普及促進
- ウ スポーツ合宿・スポーツ大会の誘致
- エ 民泊受け入れ体制の拡充

### (2) まちなか賑わい創出部会～マーケティング（価値の創造・仕組みの構築）～

#### ① 基本方針

「まちなかエリアビジョン」及び「くずま～る周辺環境整備構想」に基づき、「歩きまわりたくなるまちなか」の実現に向けて公民連携によるエリア全体の価値向上につながる取組みを推進するとともに、起業家の創出や誘致に向けてエリアの魅力向上による民間活力の導入を図りながら、受入環境の整備を推進する。

② 目標

ア 「まちなかエリアビジョン」等の実現に向けた地域づくり人材の育成と民間活力を引き出す体制づくり

イ 起業希望者の掘り起こし及び支援

③ 活動内容

ア まちなかエリアリノベーションワークショップの開催

・まちなかエリアの賑わいづくり実践活動の展開

イ 起業家育成支援セミナーの企画・開催

・起業を志す人材育成を通じた公民連携によるまちなかエリアの魅力向上

(3) 関係人口創出部会～ブランディング（他との差別化・らしさ追及）～

① 基本方針

特産品を中心に葛巻町のブランドイメージのさらなる向上を図り、新たな「くずまきファン」の獲得を目指す。

また、移住体験ツアーや各種情報発信を通じて、町への移住を促進するとともに、「拡大コミュニティ」の形成を目指して町外在住者や大学生等の関係人口を創出し、地域づくりへの多様な関わりとU I ターンを促進する。

② 目標

ア 特産品の魅力向上による「くずまきファン」の拡大

イ 移住希望者に対するPRイベント等の開催

ウ 「拡大コミュニティ」の構築

③ 活動内容

ア 地域食材や特産品の高付加価値化の推進

イ 「くずまき鍋」のPR促進

ウ くずまき暮らし体験ツアーの企画・実施

エ 大学生のインターンシップ及び地域おこし体験プログラムの受け入れ

(4) 若者・高校生部会～アクション（実践の展開と周囲の巻き込み）～

① 基本方針

葛巻高校生等による「若者や高校生が住みたくなるまち」の実現を目指してそれぞれが課題を設定し、その解決に向けた取組みを実施する。

また、各テーマ別部会の取組みと連携を図ることで新たな刺激を創出し、世代間交流を行いながら、活発なDMO活動を実現する。

② 目標

ア 若者や高校生が「住みたくなるまち」の実現に向けた課題解決への取組みによる人材育成

イ 若者や高校生の目線による葛巻町の魅力発信

③ 活動内容

ア 若者や高校生による地域探求実践活動の支援

・まちなかイベントへの参画及び若者世代の居場所づくり

イ くずまきの魅力発信

・SNS等による情報発信

葛巻町総合計画後期基本計画(第3期総合戦略)／くずまきDMO戦略・施策

葛巻町総合計画後期基本計画 (R6～R9)

重点プロジェクト(戦略)	重点施策	KPI (重要業績評価指標)
<b>次代につながる “しごと” づくり</b> 【基本数値目標】 生産年齢人口一人 当たりの雇用報酬 R9年度2,800千円 (R4年度2,412千 円)	変革による 産業の振興	新規就業者 (農業・林業・商工業) R9年度8人 (R4年度5人)
	若者・女性が活躍 できる雇用の創出	地元購買率の向上 R9年度50.0% (R4年度45.7%)
	観光交流の促進と 賑わいづくり	新規起業数 R9年度：4件 (R2-R5年度1件)  観光客入込数 R9年度578,980人 (R4年度186,526人)
<b>持続可能な “まち”づくり</b> 【基本数値目標】 人口の社会動態 R9年度4人 (R5年度△20人)	若い世代が定着で きる住宅環境の 整備	若者定着率 R6年度40.0% (R4年度32.5%)
<b>循環する “ひと”づくり</b> 【基本数値目標】 年間出生数 R9年度20人 (R5年度16人)	結婚・出産・子育て などに応じた 支援の充実	合計特殊出生率 R9年度2.10 (R4年度1.47)

くずまきDMO戦略 (R6～R9)

DMO ビジョン	戦略	KPI(重要業績評価指標)	主な施策 (R6年度事業)
観光客や町民が 町内の魅力ある 空間・スポット を回遊しながら 交流し、町の特 産品や料理を消 費して、地域経 済が活性化する	産業の担い手確保	新規就業者(農業・林業・商工業) 8人	<b>1 くずまきDMO推進事業</b> ①くずまき観光地域づくり協議会の運営 ②観光地域づくりセミナー、視察研修の実施 ③DMO活動成果発表会の開催 ④観光関連情報の発信 (協議会ホームページ、SNS等) ⑤DMO企画キャンペーンの展開  <b>2 着地型観光体制構築事業</b> <b>2-1 町内周遊観光体制構築事業</b> ①着地型観光の受入体制の強化 ・体験型モニターツアー、イベントの開催 ②各種ツーリズムの機運醸成 ・サイクルツーリズム(サイクルイベントの開催、 レンタサイクル・サイクルステーションの運営) ・スポーツツーリズム(合宿・大会の誘致促進) ・グリーンツーリズム(民泊の受入拡大) ③若者・高校生世代の観光地域づくりへの参画促進 ・地域探求実践活動への支援  <b>2-2 まちなかエリア誘客促進事業</b> ①観光地域づくり人材の育成と民間活力の導入促進 ・まちなかリノベーションワークショップの開催 ・賑わいづくり実践活動の展開 ②起業希望者の発掘とまちなかエリアへの誘致 ・起業家育成支援セミナーの開催  <b>3 関係人口拡大推進事業</b> ①特産品の魅力向上による「くずまきファン」の拡大 ・地域食材や特産品の高付加価値化 ・「くずまき鍋」のPR促進 ②移住希望者に対するPRの推進 ・くずまき暮らし体験ツアーの開催 ③拡大コミュニティの構築 ・大学生等による地域おこし体験プログラムの実施
	まちなかエリアへの誘客 による個店の売上増	地元購買率 50.0%	
	観光地域づくり 人材の育成	DMO部会参加延べ人数 850人	
	各種ツーリズムの推進 による観光客の増加	観光客入込数 R9年度578,980人	
	滞在型観光の推進 による宿泊者の増加	町内宿泊施設宿泊者数 R9年度16,211人	
「くずまきらし いライフスタイル」の発信によ り、交流人口が 増加して町の賑 わいが創出され るとともに、産 業の担い手とな る若い世代が町 に集まる	「くずまきファン」と なる関係人口の拡大	ふるさと納税件数 R9年度1,400件/年 (R4年度770件/年)	
	町の魅力的確な 情報発信	ライフビジョンアカウント数 5,000件	
	U・Iターン希望者 への移住支援	新規移住相談件数 77件	
子育て世代への 移住支援	子育て世代への 移住件数 10世帯		

葛巻町総合計画後期基本計画(第3期総合戦略)の策定に伴い、重点プロジェクト(戦略)や重点施策、KPIなどが見直しされたため、くずまきDMO戦略も見直しを行いました。期間についても、後期計画の令和6年度～令和9年度にあわせておりますが、必要に応じて見直すものとします。

## 令和6年度収支予算(案)

### 1 令和6年度くずまき観光地域づくり協議会収支予算書(案)

#### 【 収 入 】

(単位：円)

科 目	R6年度予算額 (A)	R5年度予算額 (B)	増 減 (C=A-B)	内 容
補 助 金	1,000,000	1,000,000	0	葛巻町一般会計より 1,000,000
繰 越 金	499,547	265,983	233,564	前年度繰越金 499,547
雑 入	453	34,017	▲ 33,564	預金利息、交流会参加者会費等 453
計	1,500,000	1,300,000	200,000	

#### 【 支 出 】

科 目	R6年度予算額 (A)	R5年度予算額 (B)	増 減 (C=A-B)	内 容
会 議 費	50,000	50,000	0	総会、研修会等 50,000
需 用 費	50,000	50,000	0	消耗品 50,000
役 務 費	150,000	80,000	70,000	協議会HPレンタルサーバ使用料、広告料、手数料等 150,000
交 際 費	20,000	20,000	0	土産代等 20,000
部会活動費	1,050,000	1,010,000	40,000	部会参加者・協力者謝礼等 300,000
				研修等旅費 300,000
				需用費 450,000
				消耗品費 350,000
食糧費 100,000				
管 理 費	150,000	50,000	100,000	町家旧遠藤邸等 150,000
負 担 金	20,000	30,000	▲ 10,000	各負担金等 20,000
予 備 費	10,000	10,000	0	10,000
計	1,500,000	1,300,000	200,000	

※予算の執行にあたっては、各科目間の流用を認める

2 町一般会計におけるDMO事業関連経費【参考】

【 収 入 】

(単位：円)

科 目	R6年度予算額 (A)	R5年度予算額 (B)	増 減 (C=A-B)	内 容
国庫支出金	0	0	0	0
一般財源他	17,450,000	14,850,000	2,600,000	需用費分 300,000
				原材料費分 50,000
				委託料分 16,100,000
				補助金分 1,000,000
計	17,450,000	14,850,000	2,600,000	

【 支 出 】

科 目	R6年度予算額 (A)	R5年度予算額 (B)	増 減 (C=A-B)	内 容
需 用 費	300,000	300,000	0	施設等修繕料（町家旧遠藤邸） 300,000
委 託 料	16,100,000	13,500,000	2,600,000	観光・交流促進事業関係 2,300,000
				まちなか事業関係 3,400,000
				関係人口創出事業関係 6,000,000
				若者・高校生事業関係 若者関係人口創出推進業務 4,400,000
原 材 料 費	50,000	50,000	0	町家旧遠藤邸関係 50,000
補 助 金	1,000,000	1,000,000	0	くずまき観光地域づくり協議会 1,000,000
計	17,450,000	14,850,000	2,600,000	

※この資料につきましては、町のDMO関連事業予算の抜粋になります。

議案第2号 役員改選等について

くずまき観光地域づくり協議会役員等名簿（現）

任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日

役職	所属等	職名	氏名	備考
会長	葛巻町	副町長	觸澤 義美	
副会長	葛巻町商工会	会長	吉澤 信光	
副会長	葛巻町観光協会	会長	八木 寛一	
監事	一社) 葛巻町畜産開発公社	専務理事	高宮 晴彦	
監事	岩手銀行葛巻支店	支店長	井上 桂吾	

アドバイザー	特定非営利活動法人いわて地域づくり支援センター	理事長	広田 純一	
アドバイザー	株式会社JTB盛岡支店	観光開発プロデューサー	西谷 泰生	

くずまき観光地域づくり協議会役員等名簿（新）

任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日

役職	所属等	職名	氏名	備考
会長				
副会長				
副会長				
監事				
監事				

※規約第5条第3項 役員は、総会において会員の中から互選する。

アドバイザー				
アドバイザー				

※規約第6条 協議会にアドバイザーを置くことができる。

## くずまき観光地域づくり協議会規約

### (名称)

第1条 この協議会は、くずまき観光地域づくり協議会（以下「協議会」という。）と称する。

### (目的)

第2条 協議会は、町民、関係団体、民間企業等及び行政が一体となり、観光を中心とした「住んでよし、訪れてよし」の豊かな地域づくりにおける全町的な合意形成のもと、町民自らが地域の魅力を創出し、くずまきファンの獲得における交流人口の拡大及び起業家の誘致等を推進することにより、地域経済の活性化を図り、若者にとって「魅力ある仕事」を創出し、もって移住定住人口の増加を図ることを目的とする。

### (事業)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 観光データ等の情報収集及び分析
- (2) 戦略策定
- (3) 特産品の開発・販路拡大
- (4) まちづくり人材の育成
- (5) 誘客促進・情報発信
- (6) 移住・交流の推進
- (7) その他、協議会の目的達成に必要な業務

### (組織)

第4条 協議会の会員は、別表1に掲げる者をもって組織する。

- 2 前項の会員のほかに、協議会が必要と認める者(団体を含む)を会員とすることができる。

### (役員)

第5条 協議会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
  - (2) 副会長 2名
  - (3) 監事 2名
- 2 役員は、任期は2年とし、再任を妨げない。なお、補欠により選任された役員は、前任者の残任期間とする。
  - 3 役員は、総会において会員の中から互選する。
  - 4 会長は、協議会を代表し、会務を総括する。
  - 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。
  - 6 監事は、協議会の会務及び会計を監査する。

### (アドバイザー)

第6条 協議会に、アドバイザーを置くことができる。

- 2 アドバイザーは、協議会の運営に対して、助言を行う。
- 3 アドバイザーの任期は2年とし、再任を妨げない。

### (会議)

第7条 協議会の会議は、総会、役員会及び事業検討部会とする。

- 2 総会は会長が招集し、会長が議長となる。
- 3 通常総会は、年1回開催する。ただし、会長が必要と認めたときは臨時総会を開催することができる。
- 4 総会は、次の事項について、審議議決する。
  - (1) 規約の制定・改廃に関する事項
  - (2) 協議会の予算並びに決算に関する事項



- (3) 協議会の事業計画並びに事業報告に関する事項
  - (4) 計画・戦略等の策定に関する事項
  - (5) 協議会役員を選任並びにアドバイザーの推挙に関する事項
  - (6) その他、協議会の運営に関して必要な事項
- 5 役員会は、必要の都度会長が招集し、会長が議長となる。
- 6 協議会に、事業執行に当り必要な専門的事項を検討するために、事業検討部会を置くことができる。事業検討部会の運営に関し必要な事項は別に定める。

(総会の議決方法)

第8条 総会は、会員の過半数以上の出席をもって成立するものとする。

- 2 総会の議決は、出席会員の過半数をもって決する。ただし、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(会計)

第9条 協議会の経費は、補助金、委託料、負担金、手数料及び寄付金をもって充てる。

- 2 協議会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事務局)

第10条 協議会の事務を処理するため、協議会に事務局を置く。

- 2 事務局の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(雑則)

第11条 協議会は、会議又は業務遂行上必要に応じて会員以外の者に出席を要請し、助言並びに協力等を求めることができる。

(補則)

第12条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この規約は、平成28年9月21日から施行する。

この規約は、平成29年5月10日から施行する。

この規約は、平成30年1月12日から施行する。

この規約は、平成31年3月19日から施行する。

別表1 くずまき観光地域づくり協議会構成員

役職	所属等
	葛巻町
	岩手県盛岡広域振興局経営企画部
	新岩手農業協同組合葛巻支所
	葛巻町商工会
	葛巻町森林組合
	葛巻町観光協会
	特定非営利活動法人葛巻町スポーツ協会
	一般社団法人葛巻町畜産開発公社
	株式会社岩手くずまきワイン
	株式会社グリーンテージくずまき
	守山乳業株式会社葛巻工場
	タカナシ乳業株式会社岩手工場
	岩手銀行葛巻支店
	盛岡信用金庫葛巻支店
	岩手県立葛巻高等学校
	葛巻町自治会連合会
	葛巻町女性団体連絡会
	葛巻町青年連合協議会
	移住者代表